

平成25年度第2回長崎県後期高齢者医療広域連合懇話会 開催結果概要

- 1 開催日時 平成25年11月29日（金）午後1時53分から午後3時52分まで
- 2 開催場所 長崎市栄町4番9号 長崎県市町村会館 4階 第1会議室
- 3 出席委員 10名
山崎会長、佐藤副会長、徳永委員、齋藤委員、佐々木委員、高原委員、北野委員、中野委員、山崎委員、井手委員
- 4 傍聴者 なし

5 会議の概要

(1) 説明事項

- ア 後期高齢者医療制度について
- イ 平成26年度の保健事業等について
- ウ 後期高齢者医療肺炎球菌ワクチン接種費助成事業について
- エ 次期特定期間（平成26・27年度）保険料率の試算状況について
- オ 保険料の収納（対策）について

(2) 意見交換

イ 保健事業等について

【委員】 はりきゅう助成について実績は毎年受診者数が減っている。

【事務局】 平成22年度から「同一日の同一施術所で保険診療による施術と同時に実施した施術は助成の対象外」としている。24年度は、23年度に比べて若干増えている。

【委員】 口腔ケアの受診券発行数と実際の受診者数に差がある。

【委員】 長崎県のジェネリックの数量シェアは、新指標の60%を達成するのはかなり厳しいと推測されるので、何らかの新しい施策が必要ではないか。また、ジェネリックの差額通知はなぜ対象の薬効を絞っているのか。

【事務局】 薬の服用から通知を出すまでに時間がかかるので、通知を受け取ったときにはもう服用していないということがないように、長期的に服用される薬を対象としている。

【委員】 ジェネリックがない薬もある。また、高い薬、新しい薬がすべてよいわけではなく、今までの薬で十分な場合は薬を変えなくてもよいのではないか。

【委員】 口腔ケアによって医療費が下がっているという検証結果が過去に出ている。

ウ 後期高齢者医療肺炎球菌ワクチン接種費助成事業について

【委員】 市町によって助成の取り組みに差があるのはなぜか。

【事務局】 各市町の財政状況、保健事業への取り組み方にもよるが、定期接種化の話があるので

様子見のところもあるのではないか。

オ 保険料の収納対策について

【委員】 病院にかかっている保険料の未納者もいると思われるが、それはどうかと思う。

【事務局】 滞納者でも病院にかかっている実態がある。